

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社(社名)一、除外 1社(社名)テルモ山口D&D株式会社

(注)特定子会社であったテルモ山口D&D株式会社は、2022年10月1日付で当社の子会社であるテルモ山口株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	759,521,040株	2022年3月期	759,521,040株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	14,926,739株	2022年3月期	3,194,976株
------------	-------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	752,618,446株	2022年3月期3Q	756,170,427株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(非金融資産の減損)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日、以下「当第3四半期」)においては、前年度に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響を受けて減少していた医療需要が回復、為替も寄与し、当社グループの販売は概ね好調に推移しました。調整後営業利益は、インフレの影響による製造費の増加を、増収効果、販売価格の値上げ、費用コントロールの厳格化により一部相殺し、増益となりました。

当第3四半期の業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
売上収益	523,482	617,993	18.1	5.6
売上総利益	278,841	318,347	14.2	3.2
調整後営業利益	107,157	109,607	2.3	△5.5
営業利益	94,455	93,514	△1.0	△6.0
税引前四半期利益	93,044	92,100	△1.0	—
四半期利益	71,696	70,180	△2.1	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	71,696	70,180	△2.1	—

当第3四半期の地域別売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

地域	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
日本	155,034	157,044	1.3	1.3
欧州	103,997	118,615	14.1	4.6
米州	161,219	212,363	31.7	8.1
中国	44,605	56,628	27.0	8.6
アジア他	58,625	73,341	25.1	10.2
海外計	368,447	460,948	25.1	7.5
合計	523,482	617,993	18.1	5.6

<売上収益>

売上収益は、前年同期比18.1%増の6,180億円となりました。

日本は、COVID-19の第8波の影響を受けて医療需要の回復が遅れたものの、製薬企業との提携ビジネスであるファーマシューティカルソリューション事業や、ホスピタルケアソリューション事業の外科領域が好調に推移し、前年同期比1.3%の増収となりました。

海外は、医療需要の回復が進んだことで、TIS(カテーテル)事業を中心に全カンパニーが二桁伸長し、前年同期比25.1%の増収となりました。

<利益>

売上総利益は、インフレの影響による製造費の増加を、増収効果と販売価格の値上げにより一部相殺し、前年同期比14.2%増の3,183億円となりました。

調整後営業利益は、販売費及び一般管理費が円安の影響で増加したものの、費用コントロールの厳格化により一部相殺し、前年同期比2.3%増の1,096億円となりました。

営業利益、税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、調整項目である買収無形資産の償却費が円安により増加したこと等が影響し、いずれも減益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度より、従来の「ホスピタルカンパニー」のセグメント名称を「メディカルケアソリューションズカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
心臓血管カンパニー	売上収益	294,403	358,907	21.9	6.2
	(日本)	38,478	38,379	△0.3	△0.3
	(海外)	255,924	320,528	25.2	7.2
メディカルケアソリューションズ カンパニー	売上収益	138,733	145,511	4.9	1.7
	(日本)	107,664	110,149	2.3	2.3
	(海外)	31,069	35,361	13.8	△0.4
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	90,154	113,388	25.8	10.0
	(日本)	8,700	8,329	△4.3	△4.3
	(海外)	81,453	105,058	29.0	11.5

<心臓血管カンパニー>

日本は、COVID-19の第8波の影響を受けて医療需要の回復が遅れており、前年同期比で若干の減収となりました。その中において、血管事業は新製品の効果により売上収益が大きく増えました。海外は、医療需要の回復・成長とともに、新製品が寄与した血管事業をはじめ、全事業が好調で、売上収益は前年同期比25.2%の増収となりました。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比21.9%増の3,589億円となりました。

<メディカルケアソリューションズカンパニー>

日本は、医療需要の回復遅れがありました。が、ファーマシューティカルソリューション事業やホスピタルケアソリューション事業の癒着防止材が好調に推移し、前年同期比2.3%の増収となりました。海外は、前年同期比13.8%増と好調でした。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比4.9%増の1,455億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

日本は、医療需要の回復遅れが響いて減収となりました。海外は、アジア他における輸血需要の回復や、北米における成分採血装置の好調な需要が牽引し、前年同期比29.0%の大幅な増収となりました。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比25.8%増の1,134億円となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産合計は、698億円増加して1兆5,435億円となりました。これは主に、為替相場が円安に推移した影響等により棚卸資産が385億円増加、上記同様の為替の影響及び生産設備や新ITシステムへの投資等により、有形固定資産が229億円増加、のれん及び無形資産が217億円増加した一方で、自己株式の取得等により現金及び現金同等物が429億円減少したことによるものです。

負債合計は、84億円増加して4,698億円となりました。これは主に、上記同様の為替の影響等により社債及び借入金が増加したことによるものです。

資本合計は、614億円増加して1兆737億円となりました。これは主に、四半期利益の計上により702億円増加、上記同様の為替の影響等に伴うその他の包括利益の計上により690億円増加した一方で、自己株式の取得により501億円減少、剰余金の配当により279億円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点では不透明なCOVID-19の再拡大の動向、またその影響による需要減やサプライチェーンの混乱と製造費のインフレ、工場の操業度低下のリスクについては、引き続き注視していく必要がありますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品やサービスの開発・販売及び拡大、さらなる原価改善、販管費の効率的な運用等に注力してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	205,251	162,388
営業債権及びその他の債権	135,998	154,063
その他の金融資産	63	240
棚卸資産	198,536	237,071
未収法人所得税等	778	2,536
その他の流動資産	18,086	18,490
流動資産合計	558,713	574,791
非流動資産		
有形固定資産	333,864	356,716
のれん及び無形資産	514,801	536,502
持分法で会計処理されている投資	4,133	3,644
その他の金融資産	25,937	34,627
繰延税金資産	20,198	21,589
その他の非流動資産	16,043	15,597
非流動資産合計	914,979	968,678
資産合計	1,473,693	1,543,470

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	81,545	83,787
社債及び借入金	1,121	11,214
その他の金融負債	7,228	7,262
未払法人所得税等	14,104	18,362
引当金	499	354
その他の流動負債	73,222	74,713
流動負債合計	177,721	195,695
非流動負債		
社債及び借入金	224,875	220,492
その他の金融負債	30,297	29,175
繰延税金負債	12,746	10,160
退職給付に係る負債	5,811	5,171
引当金	113	125
その他の非流動負債	9,813	8,937
非流動負債合計	283,658	274,063
負債合計	461,379	469,758
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,921	51,937
自己株式	△6,229	△56,020
利益剰余金	846,978	891,992
その他の資本の構成要素	80,926	147,085
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,012,313	1,073,711
資本合計	1,012,313	1,073,711
負債及び資本合計	1,473,693	1,543,470

（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
売上収益	523,482	617,993
売上原価	244,641	299,646
売上総利益	278,841	318,347
販売費及び一般管理費	183,738	224,136
その他の収益	1,814	8,226
その他の費用	2,461	8,922
営業利益	94,455	93,514
金融収益	759	1,915
金融費用	2,603	3,466
持分法による投資損益（△は損失）	433	136
税引前四半期利益	93,044	92,100
法人所得税費用	21,348	21,920
四半期利益	71,696	70,180
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	71,696	70,180
四半期利益	71,696	70,180
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	94.82	93.25
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	94.76	93.21

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期利益	71,696	70,180
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	106	1,982
確定給付制度の再測定	15	864
純損益に振り替えられることのない 項目合計	121	2,847
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	30,018	65,723
キャッシュ・フロー・ヘッジ	228	734
ヘッジコスト	△20	△341
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	30,227	66,117
その他の包括利益	30,348	68,964
四半期包括利益	102,045	139,144
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	102,045	139,144
四半期包括利益	102,045	139,144

（注） 上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2021年4月1日時点の残高	38,716	51,829	△6,838	775,078	△2,123	856,662	856,662
四半期利益	—	—	—	71,696	—	71,696	71,696
その他の包括利益	—	—	—	—	30,348	30,348	30,348
四半期包括利益合計	—	—	—	71,696	30,348	102,045	102,045
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	△2	△2
自己株式の処分	—	△5	33	—	△27	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△23,440	—	△23,440	△23,440
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	△156	156	—	—
株式報酬取引	—	62	91	—	26	180	180
転換社債型新株予約権付 社債の転換	—	△11	470	—	—	459	459
所有者との取引額合計	—	45	592	△23,597	156	△22,803	△22,803
2021年12月31日時点の残高	38,716	51,874	△6,245	823,177	28,381	935,904	935,904

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2022年4月1日時点の残高	38,716	51,921	△6,229	846,978	80,926	1,012,313	1,012,313
四半期利益	—	—	—	70,180	—	70,180	70,180
その他の包括利益	—	—	—	—	68,964	68,964	68,964
四半期包括利益合計	—	—	—	70,180	68,964	139,144	139,144
自己株式の取得	—	△56	△50,002	—	—	△50,058	△50,058
自己株式の処分	—	17	87	—	△105	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△27,924	—	△27,924	△27,924
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	2,758	△2,758	—	—
株式報酬取引	—	54	123	—	57	235	235
所有者との取引額合計	—	15	△49,791	△25,165	△2,805	△77,747	△77,747
2022年12月31日時点の残高	38,716	51,937	△56,020	891,992	147,085	1,073,711	1,073,711

（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

前連結会計年度より、従来の「ホスピタルカンパニー」のセグメント名称を「メディカルケアソリューションズカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリュー ションズカン パニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	294,403	138,733	90,154	523,291	190	523,482
セグメント利益 (調整後営業利益) (調整項目)	72,326	19,345	17,191	108,862	△1,705	107,157
買収無形資産の償却費	△5,496	—	△6,294	△11,791	△50	△11,841
一時的な損益(注) 2						△860
営業利益						94,455
金融収益						759
金融費用						△2,603
持分法による投資損益						433
税引前四半期利益						93,044

（注） 1. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額190百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
 - セグメント利益の調整額△1,705百万円には、棚卸資産の調整額△85百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△1,962百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△860百万円には、条件付対価の公正価値変動△213百万円、事業再編費用△645百万円等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリューションズカン パニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	358,907	145,511	113,388	617,807	186	617,993
セグメント利益 (調整後営業利益) (調整項目)	83,598	12,605	12,924	109,127	479	109,607
買収無形資産の償却費	△6,770	—	△7,633	△14,403	4	△14,399
一時的な損益(注) 2						△1,694
営業利益						93,514
金融収益						1,915
金融費用						△3,466
持分法による投資損益						136
税引前四半期利益						92,100

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額186百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- セグメント利益の調整額479百万円には、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△2,511百万円、棚卸資産の調整額△359百万円等が含まれております。
- 一時的な損益△1,694百万円には、技術資産の減損△1,788百万円、のれんの減損△3,589百万円、事業再編費用△1,564百万円、条件付対価の公正価値変動1,357百万円、事業等譲渡益3,891百万円等が含まれております。

(非金融資産の減損)

当第3四半期連結累計期間に認識した減損損失5,377百万円は、以下の理由によるものです。

(1) 血液・細胞テクノロジーカンパニーの自家生物製剤事業の減損

自家生物製剤事業について、グローバスメディカル社との譲渡契約に基づき当第3四半期連結累計期間において売却目的で保有する資産及び直接関連する負債へ分類し、処分グループを売却コスト控除後の公正価値により測定したことに関わる減損損失 3,589百万円を計上しております。

公正価値は、グローバスメディカル社との譲渡契約における売却予定価格に基づいて決定しており、この公正価値測定はレベル3の公正価値に区分されます。

なお、「のれん及び無形資産」について認識した当該減損損失は、要約四半期連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。また、当該事業の譲渡は2022年10月11日に完了しております。

(2) 心臓血管カンパニーに属する一部生産の中止の決定に伴う技術資産の減損

当第3四半期連結累計期間において、心臓血管カンパニーに属する一部製品の生産中止を決定したことにより、減損損失1,788百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。技術資産について認識した当該減損損失は、要約四半期連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は2022年5月12日開催の取締役会において決議した会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を2023年1月13日付で完了しました。

(1) 消却した株式の種類	当社普通株式
(2) 消却した株式の総数	11,838,500株
(3) 消却後の発行済み株式総数	747,682,540株
(4) 消却日	2023年1月13日